

掘りだそう、自然の力。

Calbee

TSE code : 2229
カルビー株式会社
2026.7.30

カルビーグループ決算説明会

2027年3月期 第1四半期

2026年4月1日～2026年6月30日

- 第1四半期は、国内・海外事業ともに堅調で、45億円の増収、13億円の増益
売上高・営業利益ともに計画を達成
 - ・ 国内は、昨秋のばれいしょ収量減影響が継続する中でもスナック販売が堅調
価格・規格改定効果も寄与して全体増益を牽引
 - ・ 海外は、アジア・オセアニアを中心に成長モメンタムを維持
 - ・ 北米は、中長期の成長に向けて組織基盤を強化し、下期以降の施策の検討推進

- 中東情勢影響は第1四半期では限定的で、想定内で推移
今後も状況を精査しつつ、スピード感をもって対策を進め、
利益影響最小化に努める

中東情勢の影響への対応状況

- 年間利益影響額は△30億円の見通しに変更なし
- コストインパクトは第1四半期では限定的なものの、第2四半期が最も大きいと想定
- 対応策を機動的かつ柔軟に決断することで、製品の安定供給と利益影響の最小化の実現を目指す

リリース日	内容
5/12	製品の安定供給のために、一部製品を2色印刷パッケージに切り替え
6/26	幅広い製品で10月からの価格改定を予定
7/9	直近の原材料調達見通しを踏まえ、パッケージ表面をカラー印刷に見直し

【表面のフルカラー印刷を再開したパッケージのイメージ】



2027年3月期 第1四半期業績 サマリ

握りだそう、自然の力。

Calbee

(億円)	2026年3月期 第1四半期 実績	2027年3月期 第1四半期 実績	伸び率	2027年3月期 第1四半期 計画	計画比
売上高	822	868	+5.5%	866	100.2%
国内	618	630	+2.0%	628	100.3%
海外	205	238	+16.2%	238	99.9%
営業利益	53	66	+24.4%	64	102.9%
営業利益率	6.4%	7.6%	+1.2pts	7.4%	+0.2pts
国内	45	57	+26.4%	57	100.0%
海外	8	9	+13.0%	7	125.5%
経常利益	53	67	+26.1%	65	101.9%
当期純利益 ※	35	41	+15.2%	43	95.0%
EBITDA	94	111	+18.0%	110	101.0%
EBITDA率	11.5%	12.8%	+1.4pts	12.7%	+0.1pts
国内	77	90	+17.9%	91	98.8%
海外	18	21	+18.3%	19	111.7%

※親会社株主に帰属する当期純利益

売上高:

- 国内事業は、スナックが増収
- 海外事業は、売上高成長継続
為替影響も寄与

営業利益:

- 中東情勢影響を含むコスト上昇があるも、
国内の単価改善効果や海外の増収効果
により増益
- 前年より稼働が増加したせとうち広島工場も
増益に寄与

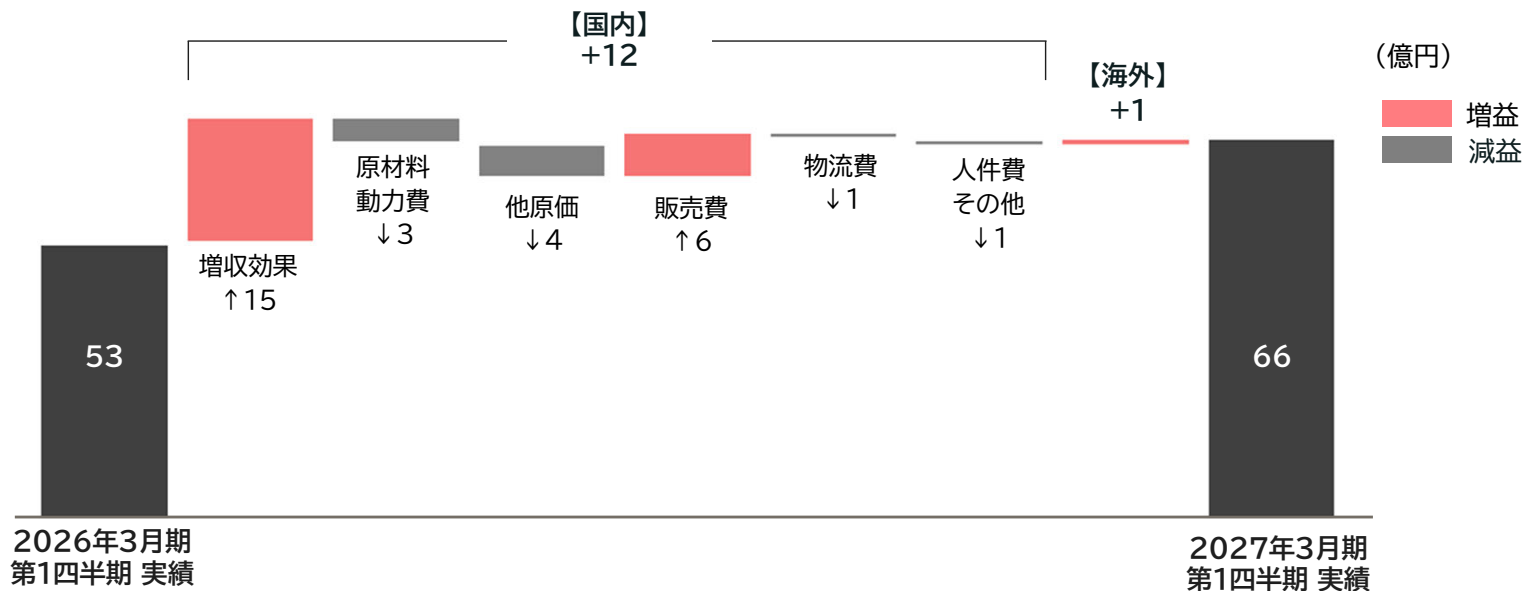
【参考】:月末為替レート(円/\$)

	前期末	6月末	計画レート
2026年3月期	149.52	↓ 144.81	—
2027年3月期	159.88	↑ 162.39	155.0

2027年3月期 第1四半期業績 営業利益増減分析

握りだそう、自然の力。

Calbee



【補足】 増収効果： 数量減(△1億円 主にシリアル)、単価改善効果※(+16億円)
 原材料・動力費： 包材(△3億円)、輸入原料(△3億円)、食油(+2億円)、動力費(+2億円)
 他原価： 数量減による生産性悪化、安定生産のための労務費増
 販売費： マーケティング活動の時期ずれ

※ 価格・規格改定効果、MIX改善等

2027年3月期 第1四半期業績 国内事業

(億円)	2027年3月期 第1四半期	前年同期比	前年同期比 %
国内売上高	630	+12	+2.0%
スナック	585	+10	+1.8%
ポテトチップス	260	+6	+2.4%
じゃがりこ	124	△2	△1.3%
その他スナック	201	+6	+3.1%
シリアル	78	△3	△3.9%
新カテゴリ・その他	42	+6	+16.3%
リベート等控除	△75	△1	—
国内営業利益	57	+12	+26.4%
営業利益率	9.0%	+1.7pts	—
EBITDA	90	+14	+17.9%
EBITDA率	14.3%	+1.9pts	—
土産用製品	43	+1	+2.1%

- 価格改定効果とスナックの堅調な販売により増収を達成
- シリアルは、市場縮小の影響を受けて減収
- 新カテゴリ・その他は、甘しょ事業が伸長

※「スナック」「シリアル」「新カテゴリ・その他」の売上高はリベート等控除前の金額を記載しています。

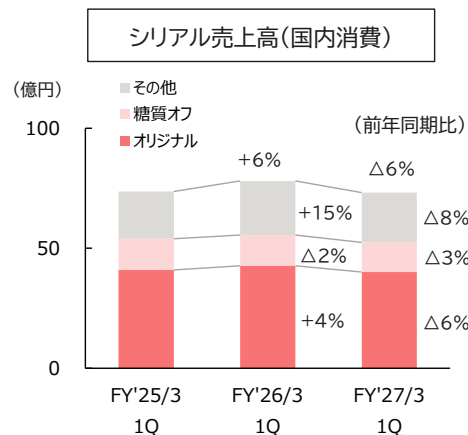
※出所：㈱インテージSRI+

スナック (売上高 +2%)

- ポテトチップス：(数量 +0.5%)
 - ・ 2月後半からの販促解禁以降、積極的な販売が継続し、前年の高い水準を上回る実績
 - ・ 「うすしお味」等の定番品に加え、「堅あげポテト」「ピザポテト」等独自性の高いブランドの好調も貢献
- じゃがりこ：(数量 △4%)
 - ・ 昨秋のばれいしょ収量減影響が継続
- その他スナック：
 - ・ 小麦系、コーン・豆系スナックいずれも増収
 - ・ 小麦系スナックは前年下期からのモメンタム維持で二桁伸長
 - ・ 豆系スナック「miino」は前年の高成長に続き、販売数量をさらに拡大

シリアル (売上高 △4%)

- ・ シリアル市場規模：前年同期比95%※
- ・ 価格・規格改定等の影響もあり、相対的に価格の高い商品の需要が減少
- ・ 継続的なマーケティングと営業活動との連携による露出の拡大や、企画品の投入で販売モメンタムの回復を目指す



2027年3月期 第1四半期業績 海外事業

(億円)	2027年3月期 第1四半期	前年同期比	前年同期比 %	為替影響除く 実質伸び率
海外売上高 ※1	238	+33	+16.2%	+5.6%
欧米 ※2	129	+17	+15.6%	+5.4%
北米(既存) ※3	75	+6	+8.9%	△1.5%
アジア・オセアニア	141	+26	+22.2%	+10.3%
リポート等控除	△32	△10	—	—
海外営業利益	9.2	+1.1	+13.0%	—
営業利益率	3.9%	△0.1pts	—	—
欧米	△0.2	△3.3	—	—
北米(既存)	2.0	△1.7	△46.2%	—
アジア・オセアニア	9.3	+4.4	+88.4%	—
EBITDA	20.9	+3.2	+18.3%	—
EBITDA率	8.8%	+0.2pts	—	—
欧米	8.5	△1.7	△16.7%	—
北米(既存)	6.1	△1.8	△23.0%	—
アジア・オセアニア	12.4	+4.9	+66.4%	—

アジア・オセアニアが成長のモメンタムを牽引
中東情勢の影響により英国・アジア地域で
一部コストが増加するも、増収増益

■ 欧米

- ・ 北米(既存)と英国が現地通貨ベースで減収も、前年8月に連結子会社化したHodo, Inc.が増収に貢献
- ・ 北米(既存)は、コアブランドの販売は堅調もPB/OEMの取引縮小で減収
利益面では成長基盤強化の投資もあり減益

■ アジア・オセアニア

- ・ 中華圏と豪州・ニュージーランドが増収増益を牽引
- ・ インドネシアは売上高が二桁伸長、収益性の高い製品の売上拡大や原価改善で利益も改善傾向

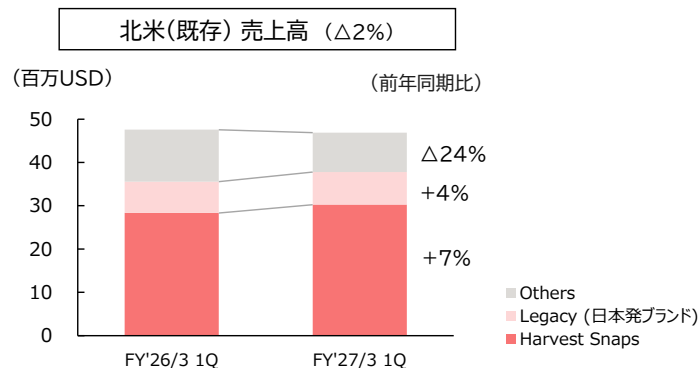
※1 地域別の売上高はリポート等控除前の金額を記載しています。

※2 欧米には新規事業のHodo, Inc.が含まれます。

※3 北米(既存)はHodo, Inc.を含みません。

■ 北米(既存):

- ・「Harvest Snaps」は好調を継続
- ・競合環境の厳しいLegacyも営業活動を強化し、「かっぱえびせん」などの販売が回復
- ・新成長戦略に基づく取り組みを開始
 - 専門人財の採用により営業・マーケティング体制を強化
 - Better For You市場向けの商品ラインアップ拡充やSNSなどを活用したデジタルマーケティング施策を準備中



■ 中華圏 (売上高 +17%※):

※ 現地通貨ベース

- ・小売店舗向け売上高は前年同期比+16% (スナック+21%、シリアル+4%)※
- ・日本のIPやフレーバーを活用した企画品が好評で「Jagabee」や「ポテトチップス」が二桁伸長
- ・シリアルでは「マイグラ」に続き「フルグラ」も現地OEM生産・販売を開始し、現地ニーズに合わせた手ごろな価格帯で数量伸長に寄与
- ・小売店舗への営業強化も継続



日本のキャラクターや独自の味を活かした
コラボレーション企画品



OEM生産の「フルグラ」
5月末より販売を開始

■ 中東情勢影響:

- ・英国やアジア地域で包材・動力・物流費用が増加
- ・今後のコスト影響拡大を見込み、地域特性を鑑みながら、第2四半期以降で価格改定等のリカバリー策を順次実施

2026年10-11月 価格・規格改定

握りだそう、自然の力。

Calbee

実施時期	2022年 3月期	2023年3月期				2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期					2027年3月期			
	2022年 1-2月	2022年 6-7月	2022年 9-10月	2022年 11月	2023年 6月	2023年 8-10月	2024年 6月	2025年 2月	2025年 4月	2025年 6月	2025年 7月	2025年 9月	2026年 2月	2026年 6月	2026年 9月	2026年 10-11月		
主な 対象製品						 一部 土産用 製品		 一部 土産用 製品										
																		
																		
																		
主な 改定率	内容量: △5% 想定価格: +7-10%	内容量: △10% 想定価格: +10-20%	想定価格: +10-20%	想定価格: +10-20%	想定価格: +3-15%	想定価格: +5-20%	想定価格: +3-10%	内容量: △7-10%	想定価格: +5-19%	想定価格: +4-10%	内容量: △8%	想定価格: +5-10%	想定価格: +8-15%	想定価格: +5-10 /+30%	想定価格: +3-10%	想定価格: +3-15%		

参考資料

連結損益計算書

握りだそう、自然の力。

Calbee

(百万円)	2027年3月期 第1四半期 実績	構成比 (%)	前年同期比 (%)	計画比 (%)	2027年3月期 計画	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	86,759	100.0	+5.5	100.2	370,000	100.0	+8.8
売上総利益	28,081	32.4	+8.4	100.9	118,000	31.9	+6.5
販売管理費	21,495	24.8	+4.3	100.3	91,800	24.8	+8.5
販売費	3,114	3.6	△12.0	91.3	16,300	4.4	+14.9
物流費	6,680	7.7	+6.6	102.5	27,600	7.5	+6.7
人件費	6,985	8.1	+7.7	100.4	29,200	7.9	+10.8
その他経費	4,715	5.4	+9.0	103.9	18,700	5.1	+2.6
営業利益	6,585	7.6	+24.4	102.9	26,200	7.1	+0.1
経常利益	6,664	7.7	+26.1	101.9	26,700	7.2	△1.4
当期純利益 ※	4,085	4.7	+15.2	95.0	17,400	4.7	+0.4

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

財政状況及びキャッシュフロー

(百万円)	2026年3月末	2026年6月末	増減
資産合計	327,609	323,759	△3,849
流動資産	131,684	126,534	△5,150 *1
固定資産	195,924	197,225	+1,300
負債合計	105,835	104,889	△945
流動負債	64,941	62,214	△2,726
固定負債	40,894	42,674	+1,780
純資産	221,774	218,870	△2,903
Net Cash	13,503	5,158	△8,345
自己資本比率	64.3%	64.1%	△0.2pts

(百万円)	2025年6月末	2026年6月末	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	9,655	5,938	△3,717
投資活動による キャッシュ・フロー	△11,677	△5,301	+6,375 *2
財務活動による キャッシュ・フロー	△7,267	△8,124	△856

【補足】

*1 流動資産：現金及び預金の減少 △6,314百万円

*2 投資CF：有形固定資産の取得による支出が減少 +4,646百万円

本資料に関するお問い合わせ：
カルビー株式会社 IR
E-mail : 2229ir@calbee.co.jp
<https://www.calbee.co.jp/ir/>

- グラフ上の事業年度表記はFY(Fiscal Year)を用いています。FY2027/3(FY' 27/3)は2027年3月期を指しており、他の事業年度も同様に表記しております。特にその指定がない表記は、暦年を表しています。
- 本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関係する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。